

安全データシート (SDS)

< 熱転写リボン >

100-00021

< 適用機種 >

ATM-BankIT/ATM-BankIT Pro

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名	: 熱転写リボン 100-00021 (PB4147-3952P001)
会社名	: 沖電気工業株式会社
問い合わせ先	
会社名	: OKI クロステック株式会社
住所	: (〒104-6126) 東京都中央区晴海一丁目 8 番 11 号
担当部門	: サポートデスク
電話番号	: 03-6381-2438

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性	: 該当しない
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)	: 分類できない
急性毒性(経皮)	: 分類できない
急性毒性(吸入:気体)	: 区分外
急性毒性(吸入:蒸気)	: 分類できない
急性毒性(吸入:粉塵)	: 分類できない
急性毒性(吸入:ミスト)	: 分類できない
皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	: 分類できない
呼吸器感作成	: 分類できない
皮膚感作成	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回暴露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性(反復暴露)	: 分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性(急性)	: 分類できない
水生環境有害性(慢性)	: 分類できない

【GHSラベル要素】

絵表示又はシンボル	: なし
注意喚起語	: なし
危険有害性情報	: なし
注意書き	
安全対策(予防策)	: 『7. 取扱い及び保管上の注意』の項を参照 『8. 暴露防止及び保護措置』の項を参照
応急措置(対応)	: 『4. 応急措置』の項を参照
保管(貯蔵)	: 『7. 取扱い及び保管上の注意』の項を参照
廃棄	: 『13. 廃棄上の注意』の項を参照

安全データシート

分類に関係しないほかの危険有害性 : 『10. 安定性及び反応性』の項を参照
『11. 有害性情報』の項を参照

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分	CAS#	含有量(%)	労安法	化管法	毒劇法
カーボンブラック	1333-86-4	3 - 6	該当	非該当	非該当
パラフィンワックス	8002-74-2	5 - 10	該当	非該当	非該当
その他ワックス	非公開	15 - 25	非該当	非該当	非該当
樹脂	非公開	10 - 15	非該当	非該当	非該当
二酸化珪素	7631-86-9	0.1 - 0.2	該当	非該当	非該当
基材/ ポリ(エチレンテレフタレート)	25038-59-9	55 - 60	非該当	非該当	非該当

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
医師の手当て、診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 大量の水と石鹼で洗うこと。外観に変化が見られる場合、痛みが続く場合は医師に連絡すること。
- 目に入った場合 : 大量の水で15分以上洗眼し、速やかに医師の手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないで、水で口の中を洗浄し、直ちに医師の手当てを受けること。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末消火剤、泡、粉末又は炭酸ガス消火剤が有効である。
- 使ってはならない消火剤 : 棒状注水
- 特有の危険有害性 : 火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生する恐れがある。
- 特有の消火方法 : 火元の燃焼元を断つ
消火作業の際には風上から行き保護具を着用する
移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す
周辺の設備などに散水して冷却する
火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

安全データシート

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 漏出しない
 環境に対する注意事項 : 漏出しない
 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 漏出しない

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱い注意事項 : 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

保管

安全な保管条件 : 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること-禁煙
 直射日光を避け、冷所(45 以下)、換気の良い場所で保管すること。

安全な保管容器材料 : 包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

成分	日本産業衛生学会	ACGIH(TWA)	ACGIH(STEL)
カーボンブラック	設定されていない	3.8mg/m ³	設定されていない
その他の成分	設定されていない	設定されていない	設定されていない

設備対策 : 特別な設備は必要としない

保護具 : 必要としない

9. 物理的及び化学的性質

外観(物理的状態、形状、色) : 形状:PET フィルムの片面にシリコン系耐熱処理をし、他面に常温で
 固体の熱溶融性インキをコーティング
 色:黒

臭い : データなし

pH : 該当しない

沸点() : データなし

引火点() : 270 以上(ワックス)

蒸気圧 : データなし

蒸気密度(空気 = 1) : データなし

比重 : データなし

溶解度 : 水にほとんど溶解しない

爆発範囲 : データなし

ポリ(エチレンテレフタレート)として

融点/凝固点 : 256

安全データシート

比重(密度)	: 1.38
溶解性	: 通常の有機溶剤に不溶、熱時ニトロベンゼンに可溶、フェノールに可溶、o-クレゾールに可溶、m-クレゾールに可溶、濃硫酸に可溶、トリフルオロ酢酸に可溶。
パラフィンワックスとして	
融点/凝固点	: 75.0
溶解性	: 水に不溶

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	: 通常の保管及び取扱においては安定である。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 高温、加熱、火源、直射日光
混触危険物質	: 強酸、強塩基、酸化剤
危険有害な分解生成物	: 燃焼の際、一酸化炭素及び二酸化炭素などの有毒ガスを発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性(経口)	: 分類するだけのデータがないため、分類できない。
急性毒性(経皮)	: 分類するだけのデータがないため、分類できない。
急性毒性(吸入:気体)	: GHS 定義により液体のため、分類対象外。
急性毒性(吸入:蒸気)	: 分類するだけのデータがないため、分類できない。
急性毒性(吸入:粉塵)	: 分類するだけのデータがないため、分類できない。
急性毒性(吸入:ミスト)	: 分類するだけのデータがないため、分類できない。
皮膚腐食性/刺激性	: 分類するだけのデータがないため、分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/ 眼刺激性	: 分類するだけのデータがないため、分類できない。
呼吸器感作性	: 分類するだけのデータがないため、分類できない。
皮膚感作性	: 分類するだけのデータがないため、分類できない。
生殖細胞変異原性	: 分類するだけのデータがないため、分類できない。
発がん性	: IARC(国際癌研究機関)によるとカーボンブラックに対する総体的評価としては『人類に対して発がん性である可能性がある(グループ2B)』となる。しかし正常な使用においてはカーボンブラックが空気中に飛散することは無い。
生殖毒性	: 分類するだけのデータがないため、分類できない。
特定標的臓器毒性(単回暴露)	: 分類するだけのデータがないため、分類できない。
特定標的臓器毒性(反復暴露)	: 分類するだけのデータがないため、分類できない。
吸引力呼吸器有害性	: 分類するだけのデータがないため、分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)	: 分類するだけのデータがないため、分類できない。
水生環境有害性(慢性)	: 分類するだけのデータがないため、分類できない。

安全データシート

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』(廃掃法)の産業廃棄物、
廃プラスチックに該当する。
廃掃法に従って、産業廃棄物処理業者もしくは地方自治体が処分
を引き受けている場合は、地方自治体に委託し処理する。
償却処分するときは、管理された焼却設備を用いて、廃掃法、水質
汚濁防止法等に従って処理する。
- 汚染容器及び包装 : 情報なし

14. 輸送上の注意

容器の破損がないことを確認し、衝撃・転倒・落下・破損のないように積み下ろしを行い、荷崩れ防止を
行う。また、直射日光を避けて輸送する。

- 国際規制
- 国連分類 : なし
- 容器等級 : なし
- 国連番号 : なし
- 陸上規制 : 該当しない
- 海上規制 : 該当しない
- 航空規制 : 該当しない

15. 適用法令

- 労働安全衛生法 : 名称等を通知すべき有害物
(第 57 条の 2 施行令第 18 条の 2 別表第 9)
・カーボンブラック(130)
・固形パラフィン(170)
・二酸化珪素(312)
- 科学物質排出把握管理促進法 : 該当しない
(PRTR 法)
- 毒物現物取締法 : 該当しない
- 消防法 : 指定可燃物 可燃性固体類
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法令 : 産業廃棄物 廃プラスチック類

安全データシート

16. その他の情報

- ・ 記載内容は現時点で入手できる資料・情報に基づいて作成していますが、含有量・物理化学的情報・危険・有害性に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は、通常取扱を対象にしたものであって、特殊な取扱の場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。
- ・ 入手しました資料・情報に変更があった場合、内容を変更することがあります。
- ・ 業界自主規制により印刷面が直接、食品に触れる所に印刷しないで下さい。
- ・ 本「物質安全データシート」は日本国内のみ有効で諸外国については各国の法規によって規制されますので御注意下さい。